

事業の基礎情報

実施主体	相模原市
事業実施地域	相模原市（緑区若葉台、南区新磯）
共創の類型	官民共創 ・ 他分野共創
他分野共創の類型	医療・介護・福祉 ・ 商業・農業 ・ 観光・まちづくり
共創パートナー	地域運行主体（緑区若葉台、南区新磯） ・ 商業施設 ・ 医療機関 神奈川県タクシー協会 相模支部 ・ 相模原市地域交通活性化協議会
運行形態	地域主体によるグリーンスローモビリティを活用した、道路運送法上の許可・登録を要しない無償運行
運行主体	地域組織

取組の概要

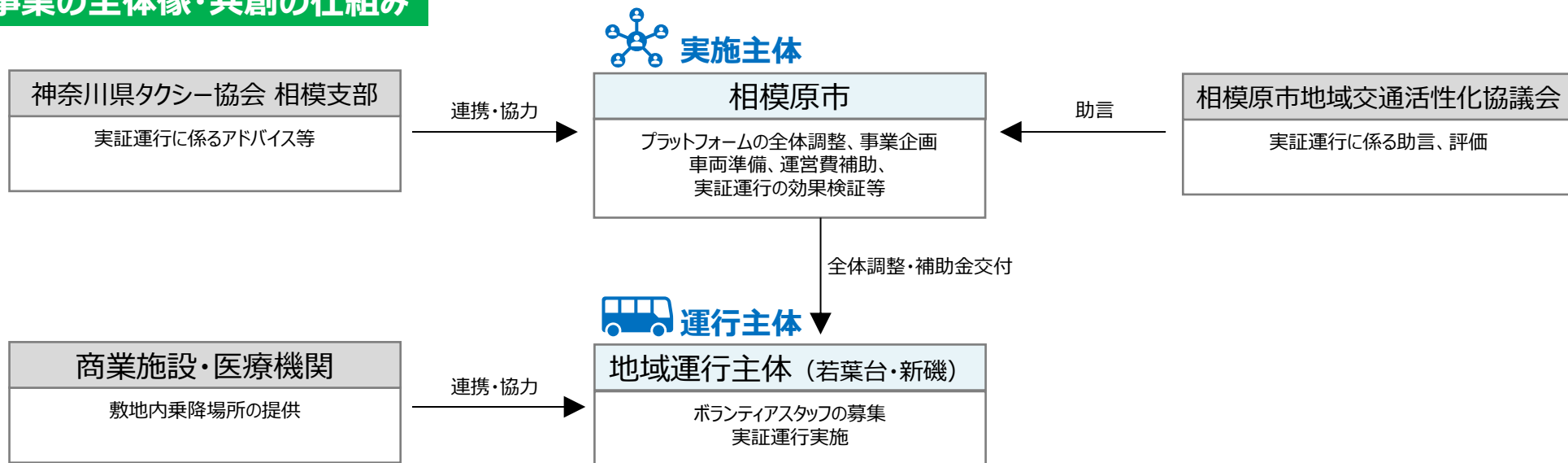
（現状の地域課題と事業目的）

本市では、近年の高齢化や地域特有の地理条件等から、買い物や通院などの身近な移動に困難を抱える地域が多く存在する。特に若葉台地区と新磯地区は地域内に高低差が多く、高い高齢化率や交通不便地域を抱えていることなどから、住民は身近な移動に苦勞するとともに地域コミュニティへの参画意識も低下している。こうした中、地域と自治体が適切な役割分担のもと、持続可能な移動手段の確保や地域コミュニティの活性化を図ることを目的とするもの。

（事業の概要）

- 地域住民のボランティアドライバーによるグリスロを活用した住民送迎の実施（道路運送法上の許可・登録を要しない無償運行）
- 市内交通事業者が現状担い手不足の中、地域の共助で移動を支える仕組みの構築
- 本事業により住民の外出促進、地域コミュニティの活性化を図るとともに、持続可能な方策について実証運行を通じて検討

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

（地域の関係者との連携・協働）

- 自治会、社会福祉協議会、民生委員等の多様な主体による構成

運行主体となる地域組織は、自治会を中心に福祉関係まで多様な主体により構成されており、地域の高齢者の移動ニーズの掘り起こしや独居高齢者の見守りにも寄与する。

また、公共交通との共存や持続可能性の観点からも、地域の交通事業者や商業施設・医療機関とも協働で取り組む。

（実証事業により見込まれる効果）

- 地域の共助で移動を支える仕組みの創出

公共交通の担い手不足による路線バスやタクシーの減便、縮小が進む中、運行内容を地域で検討してもらうことで、地域の特性や移動ニーズに応じた柔軟な運行が可能。

- 地域コミュニティの活性化

住民の外出回数増加や公共交通の利用促進のほか、スタッフとして運営に参画することによる地域コミュニティの活性化にも寄与する。

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

グリスロの活用可能性検討のため、令和6年度は若葉台地区・新磯地区で通年での実証運行を行う。

項 目	令和6年度												令和7年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
運行実施計画の策定	←→																							
車両調達（リース）		←→	→																					
テスト走行、ドライバー講習		←→																						
実証運行の実施、効果検証			←→	→	→	→	→	→	→	→	→	→												
「グリスロ導入の手引き」の作成									←→	→	→	→												
実績報告											←→													
本格運行の実施、効果検証													←→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
実証運行希望地区公募													←→	→	→									
車両発注（リース（市負担））（新規地区）															←→	→	→							
運営体制の検討、運行実施計画の策定（新規地区）																←→	→	→	→	→	→			
テスト走行、ドライバー講習（新規地区）																			←→	→	→			
実証運行の実施（新規地区）																					←→	→	→	→

(補助事業実施後の予定)

若葉台地区・新磯地区での実証運行を踏まえ、令和7年度以降、両地区で本格運行するとともに、地域主体で導入可能な移動手段として、他地域への展開を図る。

なお、本事業の実施にあたっては持続可能性の担保が必要であるため、ボランティアドライバーの継続的な確保やスタッフの負担軽減等の観点で地域と方策を検討するとともに、利用者に対する運行に係る実費負担、目的施設からの協賛金募集など、市からの運営費補助金に依存しない制度設計を進め、住民共助型輸送サービスのモデルケース構築を図る。